



## 1 申請団体に関すること

(1) 団体の経営方針について

(2) 団体の事業（活動）実績について

## (1) 団体の経営方針について

特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会（以下「NPO法人港南区レクリエーション協会」）は、区民に対して講座や講演会、野山の散策、子ども自然教室及び横浜市地区センターを中心とした地域施設協働事業に関する事業を行い、社会教育、まちづくり及び子どもの健全育成の推進を目的にした活動を通じて、相互交流を深め、地域コミュニティづくりや地域連帯意識が高揚されるよう、地域に密着した経営に努めています。

また、幼児、小学生、中学生向け事業を合理的に実施する方法として、経費を節約するためNPO法人港南区レクリエーション協会会員の多種多様な能力と長年の青少年事業の経験を活かし、施設管理費の縮減に努力しています。

## (2) 団体の事業（活動）実績について

NPO法人港南区レクリエーション協会の前身は、昭和59年に始まった港南区中学生交流キャンプで、企画運営を担った青少年指導員と参加した青年によるキャンプ実行委員会です。平成5年設立以降、青少年キャンプを始め幅広い層の区民が参加できる事業を行ってきました。

また、特定非営利活動法人化に伴い、平成17年11月から少年の学び場“Yokohama ちゃれんじやーず”を実施しています。この学び場は、平成17年度第2回横浜市青少年育成活動補助事業及び平成18年度子どもゆめ基金助成事業として活動しています。

## 【実績】

- ・こうなん少年ふれあいキャンプ（夏休み） \* 赤城林間学園25回
- ・青少年野外活動研修会 \* 野島青少年研修センター他16回
- ・こうなん 野・山を歩こう会（5月・11月） \* 近郊のハイキング29回
- ・こうなんWeスキーの会（2月下旬）12回
- ・レクリエーション講習会（10月）10回
- ・永谷地区センター主催ディキャンプ（野外炊事とレク）12回
- ・港南地区センター主催ワンパクサタデー（ウォークラリー他）4回
- ・東永谷地区センター主催ワンパクサタデー（大型すごろく、羽子板他）2回
- ・東永谷地区センター主催歴史散策（企画・ガイド）1回
- ・野庭地区センターまつり（ヨーヨー、綿あめ、ポップコーン）1回
- ・桜道コミュニティハウス文化祭（スーパーボール他）3回
- ・港南の歴史研究会主催区内歴史散策（ガイド）5回
- ・港南区母親クラブのつどい「ワクワクホリデー」（スーパーボール他）4回

## 2 施設運営に関する職員体制及び職員育成の考え方について

(1) コミュニティスタッフの配置及び採用について

(2) コミュニティスタッフの研修計画について

(1) コミュニティスタッフの配置及び採用について

ア) 配置

- ・館長 1 名
- ・チーフ 1 名
- ・サブチーフ 1 名
- ・コミュニティスタッフ 7 名

イ) 採用

館長は、NPO 法人港南区レクリエーション協会理事長がその任にあたります。

チーフ、サブチーフについては、経験豊富なスタッフから選任します。コミュニティスタッフは、地域性を考慮して徒歩通勤、自転車通勤可能な区内在住者とし、自主事業を企画実践できる者とし、いずれも、公募し勤務状況が良好で希望するものは継続可とします。

(2) コミュニティスタッフの研修計画について

ア) スタッフ全員参加による研修会を毎月 1 回実施いたします。救急、防犯、接遇、人権及び安全についての意識を高めていきます。

イ) 幼児、小学生、中学生各層向け事業の企画・実践に必要な専門性をもてるよう、自主事業実施の際に実習を行います。

## 3 個人情報の保護について

(1) 個人情報保護に関する措置

(1) 個人情報保護に関する措置

横浜市個人情報の保護に関する条例に基づき、ログハウス利用者の個人情報の収集は必要最小限とし、二次利用は一切認めず、記入された利用者カードは翌日に廃棄いたします。

全コミュニティスタッフに対し、個人情報保護の趣旨と取り扱いを徹底いたします。

#### 4 緊急時対応（危機管理のあり方）について

- (1) 防犯、防災の対応について
- (2) その他、緊急時の対応について

##### (1) 防犯、防災の対応について

防犯の対応については、近隣組織・団体との緊急連絡網をつくり、地域の施設を地域が見守っていけるよう連携を図っていきます。また、研修・訓練を医療・警察等関係機関等と連携して行っていきます。

館長に防火管理の有資格者をあて、防災計画の策定を行うと共に、防火訓練を消防局の協力を得て実施していきます。

夜間警備については、年間を通じて民間警備会社に委託します。

##### (2) その他、緊急時の対応について

職員の緊急連絡網及びマニュアルを作成し、電話・ファクス・メール等を駆使して対応していきます。

また、医療・警察・消防等の各機関との連携が保てるようにしていきます。特に小中学校との連携強化を図るようにします。

#### 5 こどもログハウスの管理運営に対する基本方針

- (1) 港南台北公園こどもログハウスの指定管理者を希望する理由
- (2) 申請団体における港南台北公園こどもログハウスの管理運営の位置づけ

##### (1) 港南台北公園こどもログハウスの指定管理者を希望する理由

NPO法人港南区レクリエーション協会の活動目的のひとつに、「子どもの健全育成を図る活動」があります。13年培ってきた青少年リーダー育成の実績と青少年事業のノウハウを、木のぬくもりを感じるログハウスの事業に活かし、同時に小学生高学年・中学生ジュニアリーダー育成により、子どもの活動の輪を広げることができると考えます。また、ベッタウンとしての特徴は、子育て中の親の仲間づくりやコミュニケーション不足が課題になっています。子育て中の親、特に母親の仲間づくりを支援することはNPO法人港南区レクリエーション協会の活動目標である「まちづくりの推進を図る活動」に合致するので希望します。

##### (2) 申請団体における港南台北公園ログハウスの管理運営の位置づけ

NPO法人港南区レクリエーション協会は、長年にわたって青少年を対象に野外施設での活動を行ってきました。施設ボランティアの経験、地域文化の発展・向上に向けた社会教育活動の実績を活かし、利用者の満足度が高まることを基本にした管理運営を行っていきます。具体的には、ログハウス・プロジェクトを設け、自主事業の企画運営のサポート、コミュニティスタッフに対する相談業務、簡易な補修や点検等サポート活動を行っていきます。

## 6 地域の特性をとらえたこどもログハウスの管理運営について

(1) 申請団体がとらえた地域の特性

(2) (1) の特性を踏まえたうえでの、港南台北公園こどもログハウスの運営の考え方について

(1) 申請団体がとらえた地域の特性

分区から37年を経て、学校建設、地域施設、交通機関や道路など都市整備がなされてきました。一方、少子高齢化が進む地域の課題を抱えるようになってきました。昼間人口が夜間人口の73%というベッドタウンとしての特徴を持っており、留守家庭の子ども、子育て中の母親の割合は多い状況です。

(2) (1) の特性を踏まえたうえでの、港南台北公園ログハウスの運営の考え方について

子どもの創造性を育み、子ども同士が一緒になって取り組める遊びを実現させます。また、活動を通して小学校高学年・中学生の自主活動意識が高まるようにしていきます。

幼児を抱える子育て中の親の支援事業や、子育て中の親をサポートする支援体制については、NPO法人港南区レクリエーション協会と保育ボランティアの協働による取り組みを行っていきます。

木のぬくもりが感じられるログハウスの特性を活かした遊び・ゲームの指導、自由遊び時の安全管理に万全を尽くします。

また、土日曜日の学校行事による月曜振替日に、午前中から利用できるよう、平成19年度から第3火曜日を休館日(スタッフ研修、定期清掃日)とします。

## 7 地域及び利用者ニーズの把握と運営への反映について

(1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について

(2) (1) で把握したニーズの運営への反映の仕方について

1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について

ア) 地域代表や利用者、区民などで構成するこどもログハウス委員会を設置し、地域の特性や利用者のニーズを把握します

イ) 利用者の声ポストを設置し、また必要に応じ広く意見を聞くようにします。

(2) (1) で把握したニーズの運営への反映の仕方について

ア) 把握したニーズについて、緊急に改善すべき事項、状況把握に努めて結論を出す事項など内容分析をログハウス・プロジェクトと毎月開催のスタッフ研修会で行い、検討状況や結果については館内掲示板、どんぐりたより(年4回発行)などで情報提供していきます。

イ) 区役所に寄せられた要望や地域懇談会等での意見についても、区役所等行政機関と連携することで運営に反映していきます。

ウ) 自主事業(イベント)等のお知らせの方法として、こうなん区広報、どんぐりたより及び地域広報掲示板を活用し、広く区民に情報提供していきます。

## 8 自主事業の提案について

### (1) 自主事業計画に関する基本方針

※ 具体的な計画については、様式 2 及び様式 3 に記載すること

#### 1) 自主事業計画に関する基本方針

- ア) 子どもの創造性を育み、子ども同士が一緒になって取り組める遊びやゲームができるようにしていきます。
- イ) 公園を活用した野外活動を行っていきます。
- ウ) 自主事業活動を通して小学校高学年・中学生のジュニアリーダー育成を図ります。
- エ) 幼児を抱える子育て中の親を対象に、保育者を配置した講習会などを開催します。同時に、参加した母親同士が自主活動グループを立ち上げられるよう支援します。
- オ) 自主事業の企画については、ログハウス委員会、港南区街の先生、保育協力者グループ、ログハウス・プロジェクト、コミュニティスタッフの協働で取り組んでいきます。

## 9 利用者の安全対策について

### (1) 安全にサービスを提供するための対策について

### (2) 事故が発生した場合の具体的な対応について

#### (1) 安全にサービスを提供するための対策について

- ア) 館内チェックリスト、遊具チェックリストを作成し、毎日の点検励行、専門業者による定期点検を行っていきます。
- イ) 利用者の理解度に合わせて、遊具の使用方法の伝達、危険を伴う遊びやゲームに対する注意指導を行っていきます。
- ウ) 館内表示を子どもの視点に立った内容にするよう工夫していきます。

#### (2) 事故が発生した場合の具体的な対応について

- ア) スタッフの役割を明確化し、緊急連絡網及びマニュアルを作成し、電話・ファクス・メール等を駆使して対応していきます。
- イ) 医療・警察・消防等の各機関との連携が保てるようにしていきます。

## 10 管理経費に関する考え方

- (1) 効率的な管理運営のための具体的な計画について
- (2) 経費節減のための工夫について

## (1) 効率的な運営のための具体的な計画について

- ア) 効率的運営を行うため、NPO法人港南区レクリエーション協会が会計経理、労務管理を一体的に行うことで、経費を節約することが可能となり、施設管理経費の縮減に努力していきます。
- イ) 利用者や利用グループと一緒にイベントの企画運営ができるように努めていきます。
- ウ) 学校の長期休暇や季節にあった自主事業を行うこととし、支援スタッフが講師を務めるようにします。

## (2) 経費節減のための工夫について

- ア) 器具備品の小破修繕など出来るところはNPO法人港南区レクリエーション協会で行います。
- イ) 施設管理に関する業者選定は、迅速性をも考慮し区内及び近隣区から選定できるようにしていきます。
- ウ) イベント等の材料費について、参加者が持ち帰れるものについては有料を検討していきます。
- エ) 館外設置の自動販売機機能を活かせるようにしていきます。

平成19年度 港南台北公園こどもログハウス自主事業計画書

事業名	対象	自主事業予算額				
		総経費	収入		支出	
			委託料	その他	材料費	その他
①お誕生会 (14回目)	幼児と親 小・中学生	35,000	32,000	3,000	17,000	18,000
②窓にお絵描き (年6回)	幼児 小学生	6,000	6,000		6,000	
③森の木と遊ぼう	幼児 小学生	9,000	9,000			9,000
④人形劇 (年2回)	幼児・親 小学生	12,000	12,000			12,000
⑤森のコンサート (年2回)	幼児と親 小・中学生	22,000	22,000		4,000	18,000
⑥七夕かざり	幼児 小・中学生	5,000	5,000		5,000	
⑦夏休み工作	幼児 小学生	12,000	11,000	1,000	6,000	6,000
⑧どんぐり工作	幼児 小学生	11,000	11,000		2,000	9,000
⑨落ち葉遊び	子ども	11,000	11,000		2,000	9,000
⑩クリスマス会	幼児と親 小・中学生	30,000	30,000		18,000	12,000
⑪お正月遊び	小・中学生	12,000	12,000		6,000	6,000
⑫豆まき	幼児 小・中学生	5,000	5,000		5,000	
⑬春のスケッチ	幼児 小学生	12,000	11,000	1,000	3,000	9,000
⑭親子で集まろう「ひまわりふれあい広場」 (月2回)	幼児・親	36,000	36,000		12,000	24,000
⑮お話し会 (月1回)	幼児・親 小学生	12,000	12,000			12,000
		230,000	225,000	5,000	86,000	144,000



## 港南台北公園こどもログハウス自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お誕生会 (14回目)	「どんぐりハウス」開設記念イベントとして開催。 館内では「魚つりコーナー」「どんぐりマークを探せ」 など、幼児から中学生までが遊べるゲームを行います。 館外ではベランダでのバルンアート、玄関前広場 では綿あめ、ポップコーン、スーパーボールなどを出 店します。運営については、小学校高学年や中学生の 参加を呼びかけ、当日はスタッフ一緒になってお店屋 さんやゲームを行います。また、開催日は港南台北公 園で行われる日野連合ふれあい子ども祭に合わせて 行います。	4月29日(日) 年1回
窓にお絵描き	ガラス窓に思い思いのお絵描きをして楽しみます。	5月、7月、9月、 11月、1月、3 月の第1土曜日 年6回
森の木と遊ぼう	公園の大きな木を使って、木登りやロープ遊びを行 います。異年齢、異学年間の遊びをとおして、子ども リーダーを育成します。企画及び実施に際しては区役 所・環境創造局との協働で行なえるようにしていきま す。	6月2日(開港記 念日)、10月6 日(秋休み) 年2回
人形劇	少し暗い部屋の中で、お友達と肩を寄せ合い、スポッ トライトに照らされた舞台上で繰り広げられる人形劇 の世界、わくわく、ドキドキ、たくさんのかんじ てもらい、豊かな心を育てることを目的とします。	6月2日(開港記 念日)、10月6 日(秋休み) 年2回
森のコンサート	ログハウスのベランダと周辺を使って、楽器演奏や歌 唱を楽しみます。野外映画も行います。	6月2日(開港記 念日)、10月6 日(秋休み)の午 後5時から 年2回
七夕かざり	七夕かざりをつくります。「どんぐりハウス」に飾る 大きなもの、持って帰れる小さなものをつくりま す。材料の笹や竹については、地域の方の協力を得て入 手します。また、幼児や小学生の飾りつけに中学生のお 手伝い参加を呼びかけます。	7月1日～7日 (一週間) 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み工作	夏休みの作品を作り、違う学校に通う人と触れ合うことでコミュニケーションのとり方を学びます。横浜G30の観点からも牛乳パックやペットボトルを主な材料に使います。	8月4日～5日 (2日間) 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
どんぐり工作	公園に落ちたどんぐりを使った工作遊びをします。	10月29日～ 11月4日(一週間) 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
落ち葉遊び	公園の落ち葉を使ってネイチャーゲームや落ち葉のはり絵で遊びます。また、公園の樹木や昆虫についても学びます。	10月29日～ 11月4日(一週間) 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマス会	飾り付けを利用者みんなで作ったり、うたやゲームでのお楽しみ会も行います。また室内コンサートも開催します。	12月15日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お正月遊び	百人一首、かるた、トランプ、羽子板など集団ゲームで遊びます。ゲームを知っている人、初めての人、誰でも楽しめるよう指導者を配置します。	1月4日～6日 (3日間) 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
豆まき	節分をみんなで楽しみます。	2月3日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
春のスケッチ	ログハウスのベランダや公園内でスケッチを楽しみます。作品は館内に展示します。	3月27日～29日(3日間) 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で集まろう「ひまわりふれあい広場」	幼児を抱える親子を対象に、毎月2回定期的に開催します。この広場を開催することで、子育ての息抜きのひとときとなり、さらに定期的に開催することで集う人たちが顔見知りになり、子育て仲間をつくることができ、互いに助け合うことができます。	毎月第2、第3木曜日(午前11時～11時30分) 年24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お話し会	ものの豊かな時代に生きる子どもたち、お話し会を通して、想像する心を育てます。	毎月第4月曜日(午前11時～11時30分) 年12回

## 収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	7,222,000				0	横浜市より
利用料金収入						
自主事業収入	5,000				0	
雑入	123,000	0	0	0	0	
印刷代					0	
自動販売機手数料	120,000				0	
その他(電話代)	2,500				0	
その他(利息)	500				0	
その他					0	
収入合計	7,350,000			0	0	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	5,087,000	0	0	0	0	
給与・賃金	4,996,000				0	
社会保険料	21,000				0	
通勤手当	0				0	
健康診断費	70,000				0	
勤労者福祉共済掛金	0				0	
事務費	788,000	0	0	0	0	
旅費	30,000				0	説明会、打合せ会他
消耗品費	300,000				0	折り紙、コピー紙他
会議賄い費	5,000				0	委員会パック茶
印刷製本費	14,000				0	資料印刷
通信費	60,000				0	電話代、郵送料
使用料及び賃借料	2,000				0	委員会会場費
備品購入費	100,000				0	遊具
図書購入費	10,000				0	児童書
施設賠償責任保険	155,000				0	
職員等研修費	10,000				0	
振込手数料	15,000				0	
リース料	72,000				0	コピー機
手数料	0				0	
地域協力費	0				0	
その他	15,000				0	緑の協会
事業費	225,000	0	0	0	0	
自主事業費	225,000				0	15事業
わんぱくホリデー					0	
管理費	1,000,000	0	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金					0	
ガス料金					0	
水道料金					0	
清掃費	370,000				0	定期清掃、ゴミ袋
修繕費	250,000				0	網戸等
機械警備費	320,000				0	
設備保全費	60,000	0	0	0	0	
空調衛生設備保守					0	
消防設備保守	15,000				0	
電気設備保守					0	
害虫駆除清掃保守					0	
その他保全費	45,000				0	
共益費					0	
公租公課					0	
事務経費	250,000				0	
二一ズ対応費						
支出合計	7,350,000	0	0	0	0	

差引	0	0	0	0	0	
----	---	---	---	---	---	--